

第73回 総会・講演会を開催

1. はじめに

道東技術士委員会では、5月13日釧路において第73回総会・講演会を開催いたしました。

前半の総会では、平成27年度の決算報告と平成28年度の活動予定を発表し、後半の講演会では本部倫理委員会から日下部技術士を講師としてお招きし、「技術者倫理を仏道から考える」というテーマでお話して頂きました。本稿ではこの講演会の内容を中心にご報告いたします。



写真-1 講師の日下部 技術士

2. 第73回 講演会

○日時：平成28年5月13日(金)

18:30～19:30

○場所：釧路プリンスホテル

○出席者：57名(技術士32名、技術士補14名、一般11名)

○講師：株式会社 プラテック

札幌支店技師長 日下部 祐基 氏
(日本技術士会北海道本部倫理委員会幹事)

○演題：「技術者倫理を仏道から考える」

内容の構成

1. 技術者倫理につながる仏法
2. 技術者倫理の解法と仏法
3. 事例を考える
4. 技術者として今を生きる

以上の4点を、古くから伝わる仏法の視点にて、倫理と道徳、そして業務においても直面するモラル問題(相反関係など)を説いて頂きました。

1) 技術者倫理につながる仏法

キーワード：因果の道理、八正道、善行為

(a) 因果の道理とは

因とは原因のことであり、果とは結果のことである。すなわち結果には、必ず原因があり、原因無しに起こる結果はあり得ないという意味で、科学でも当たり前のこととされている。

(b) 八正道とは

- ・正見(ショウケン)：一切の物事は無常
- ・正思惟(ショウシユイ)：欲、怒り、加害的な思考を持たない
- ・正言葉(ショウゴ)：嘘、人を非難、噂話、無駄話をしない
- ・正業(ショウゴウ)：殺生、窃盗、邪な行為をしない
- ・正命(ショウミョウ)：仕事の為に悪を犯さない
- ・正精進(ショウショウジン)：悪いことをしないよう善いことをするよう努力する

- ・正念(シヨウネン)：空想(妄想)しない
- ・正定(シヨウジョウ)：落ち着いていること

(c) 善行為とは

自分のためになること、回りの人々のためになること、皆のためになることであれば、何の躊躇もしないで行動しなさい。

2) 技術者倫理の解法と仏法

モラル問題を「線引き問題」と「相反問題」の2つに分類しその解決方法を考える。

(a) 線引き問題とは

モラル問題が1本の線上にあると見るもので、線の片方の端には正しい行為があり、もう一方の端には悪い行為がある。

●解決方法

対象行為が技術者倫理として許されるか否かを判定する。具体的には、模範事例(肯定的模範事例、否定的模範事例、疑問事例、テスト事例)を用い、事情を特定するとともに、誰も同意が一致する事例とすることが重要である。

(b) 相反問題とは

二つの相反するモラル上の責務、あるいは二つの相反する行動の間で、選択を迫られるという問題である。

●解決方法

対象行為の優先順位あるいは創造的折衷案を検討し選択を容易にする。具体的には、功利主義テスト、個人尊重主義テストなどを比較し、最終的な判断は、個々人の責務についての優先度にゆだねるとともに、あくまでも倫理規定に準拠していなければならない。



写真-2 講演会風景

3) 事例を考える

事例：「道路建設の環境影響評価」

ここでは環境調査の結果を受けて、道路建設事業を推進(継続)させるのか、一時中断すべきなのか、線引き問題、相反問題が大きなテーマとなる。

これらの倫理問題を功利行為テスト、費用便益テスト、黄金律テスト、個人尊重主義テストを通じ整理するとともに、技術者として「やっては行けない行為」を仏法(因果の道理、八正道、善行為)に照らし合わせ倫理を判定してみる。

結果、「事実(貴重な生物の生息)を正確に公表し(住民や公衆をだまさない)、環境調査を継続する」ということとなる。

4) 技術者として今を生きる

人は、ツイやってしまうことがあり、このとき人は自己管理できていのかもかもしれない。

因果の道理は、因縁果の道理とも言い、因をもった人がそれを行う縁に会ってしまうとそれを行って果を受けるといふもの。

～ 善因善果、悪因悪果 ～

だからこそ今、技術者倫理を守り、徳を積み善行為をすべきではないか。さらに、因果の道理に従って、「今、ここに」を幸せに生きるためにも、倫理、仏法を守るべきと考える。

※以上が日下部技術士の講演内容であります。日頃私達が直面している倫理問題を仏法という学問から説いて頂き、技術者倫理を新たな視点で考える機会となりました。この講演を機に善因善果を心に刻み、「公衆から信頼される技術者」を今後も目指すとともに、若い技術者にもしっかり伝えて行くべきと考えます。日下部様、有難う御座いました。

3. 意見交換会

講演会終了後は、紅葉代表から本講演の感想と本委員会が道東地域の発展に寄与すべく今後の活動目標などについてお話して頂きました。

また来賓として、北海道開発局釧路開発建設部



写真-3 紅葉代表

部長梅沢様より乾杯の御挨拶を賜り、その中で「今後も若手技術者・後継者の育成は最大の課題であり、その解決に向けて建設業界の方々や技術のことや若手技術者の育成など様々な課題に対し意見交換ができるフラットな関係を築き一緒に取り組んでいきたい」と抱負を述べて頂きました。特に参加された若い技術者は、梅沢部長様と直接お話しできる機会はありませんので、このような機会を与えて頂いたことに感謝致します。



写真-4 釧路開発建設部 部長梅沢様

そして意見交換会の前半は参加した皆さんが各テーブルをまわり、お互いの近況や資格試験対策、業務における技術的な課題対策などの情報交換を活発にされておりました。

さらに後半は、日下部技術士のギター演奏と歌を披露して頂き、参加者からは大きな拍手が送られておりました。



写真-5 意見交換会風景



写真-6 日下部技術士のギター演奏と歌

4. おわりに

道東技術士委員会会員の平成 27 年度二次試験合格者は、以下の通りであります。

総 監	松澤 皇 氏(まつやコンサル)
	川尻 洋志氏(太平洋総合コンサル)
建 設	加藤 輝美氏(環境コンサル)
	伊藤 真 氏(土木技術コンサル)
	西田 光 氏(土木技術コンサル)
	吉田 良平氏(釧路市役所)
環 境	鈴木 敬一氏(北開水工コンサル)

以上 7 名の皆様、誠にありがとうございます。

次回の講演会は 12 月上旬(帯広開催)を予定しておりますので、今後ともご協力の程、宜しくお願い致します。